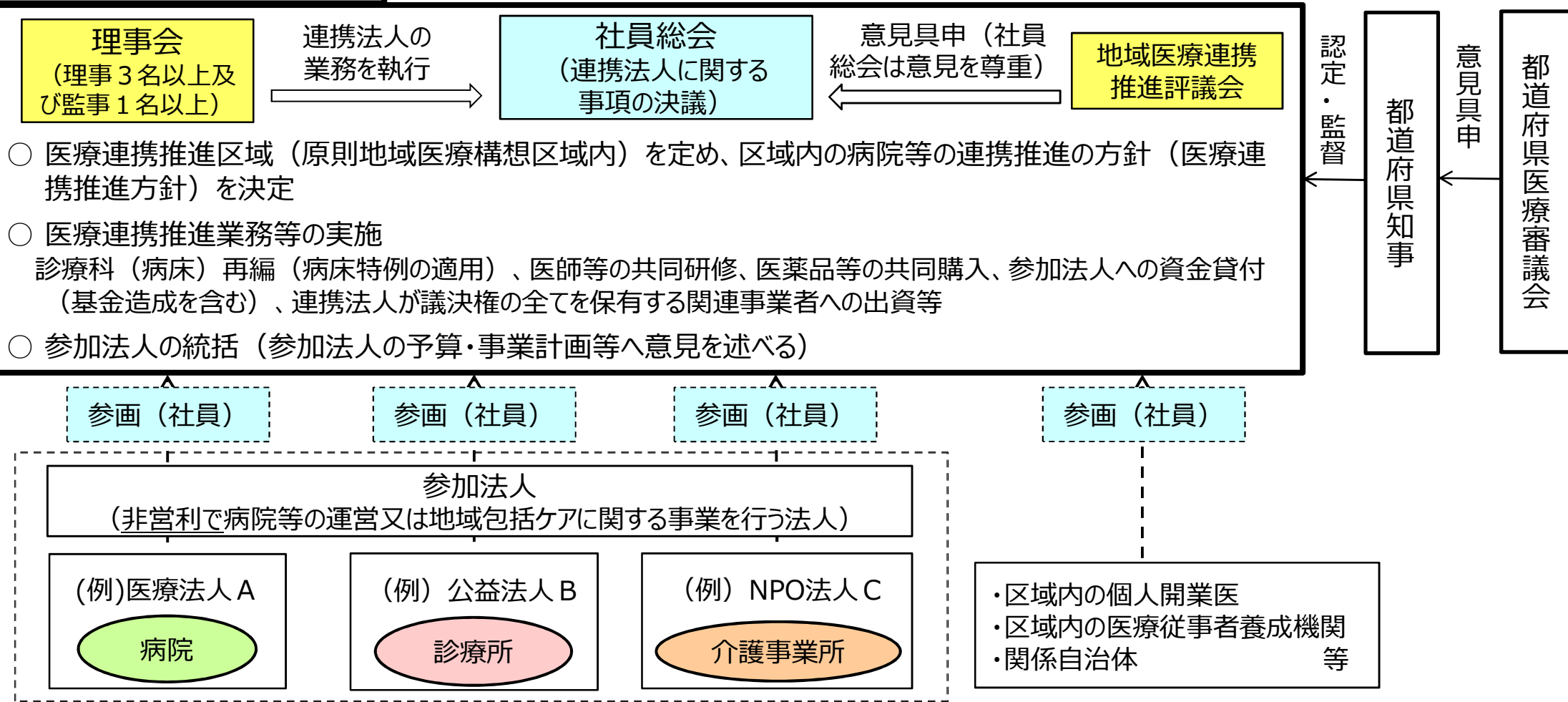


- ・医療機関相互間の機能分担及び業務の連携を推進し、地域医療構想を達成するための一つの選択肢としての、新たな法人の認定制度
- ・複数の医療機関等が法人に参画することにより、競争よりも協調を進め、地域において質が高く効率的な医療提供体制を確保

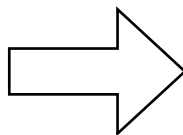
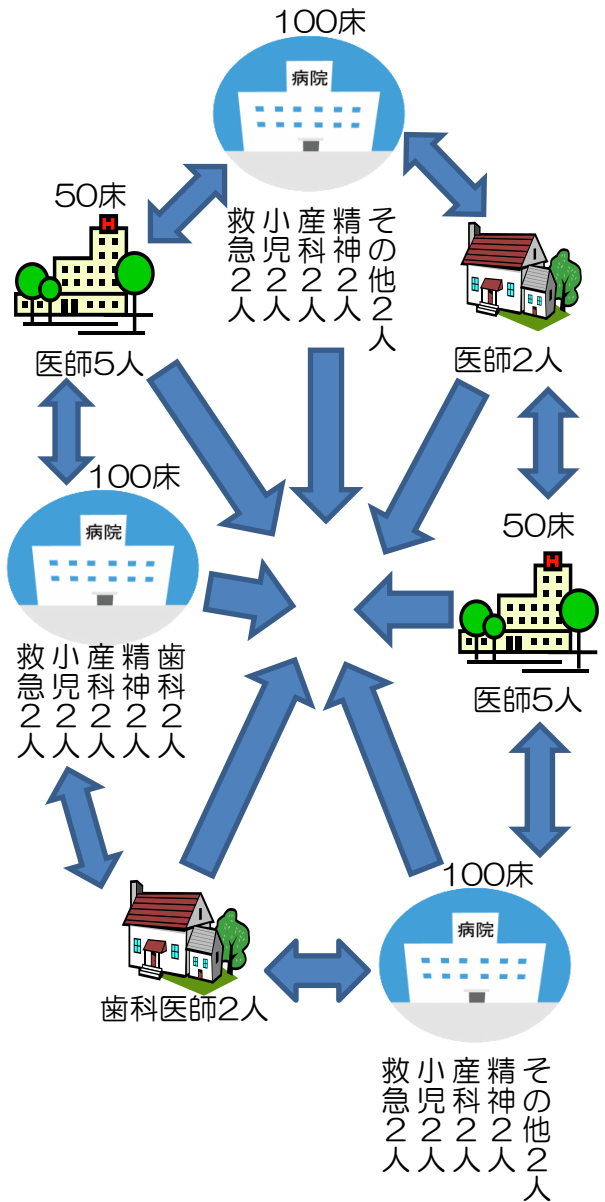
### 地域医療連携推進法人



- 一般社団法人のうち、地域における医療機関等相互間の機能分担や業務の連携を推進することを主たる目的とする法人として、医療法に定められた基準を満たすものを都道府県知事が認定（認定基準の例）
  - ・ 病院、診療所、介護老人保健施設のいずれかを運営する法人が2以上参加すること
  - ・ 医師会、患者団体その他で構成される地域医療連携推進評議会を法人内に置いていること
  - ・ 参加法人が重要事項を決定するに当たっては、地域医療連携推進法人に意見を求めることを定款で定めていること

# 地域医療連携推進法人（仮称）設立の効果・メリット（イメージ）

<法人設立前>



グループ内の  
病床機能の分化・連携



急性期病院  
過剰 → 適正化

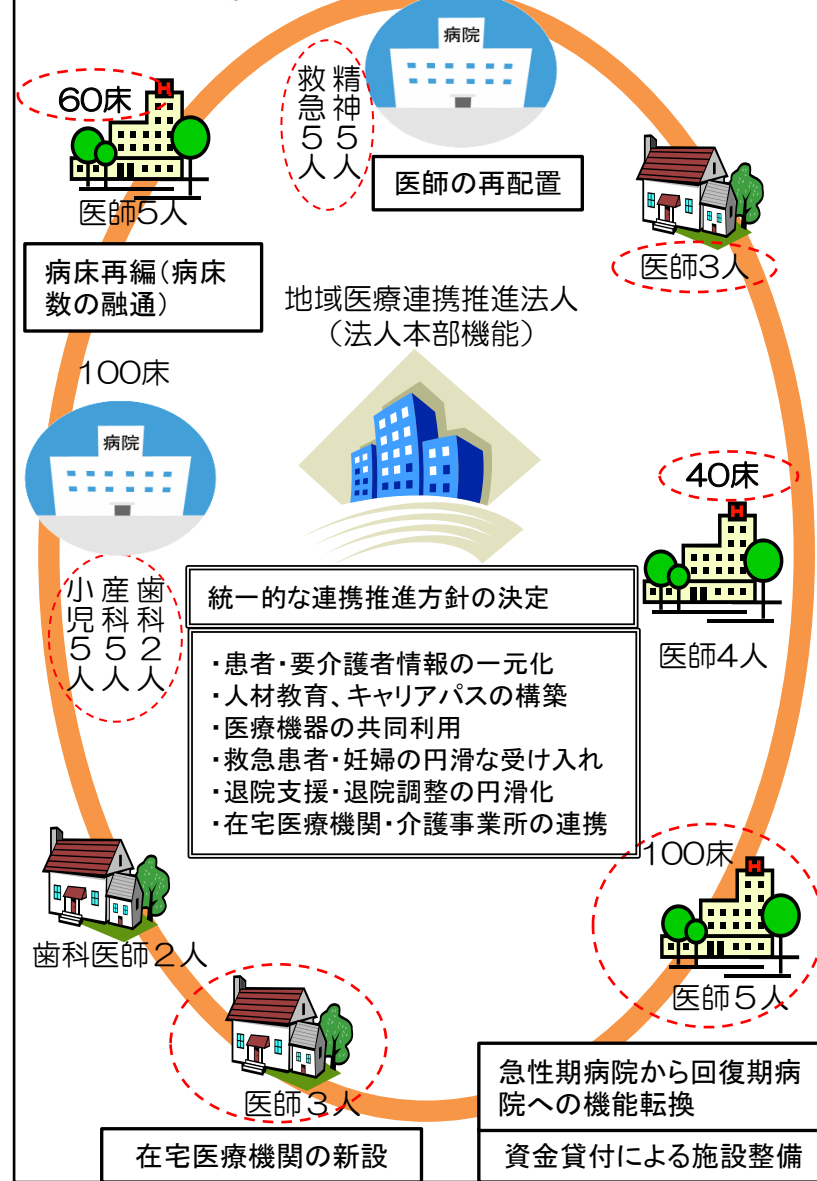


回復期病院  
不足 → 充実



在宅医療機関  
不足 → 充実

<法人設立後>



# 地域医療連携推進法人設立までの手続・スケジュール

